

要請番号 (JL50621A10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・ 2022/1 ・ 2022/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

連邦教育省アディスアベバ市教育局

2) 配属機関名 (日本語)

カラニオ小学校

3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都アディスアベバのコルフェ・カラニオサブシティにある公立小学校。生徒数約5500名、職員数は192名。エチオピアの小学校はGrade1～Grade8の8年制(小学校1年～中学校2年に相当)で概ね7～14歳の生徒が在籍しており、アムハラ語(国語)、英語、算数、理科、社会、エステティック(音楽・図工・体育)などが教えられている。授業には現地公用語であるアムハラ語が用いられている。同校へのJICA海外協力隊の派遣は今回が初めてとなる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピアでは理数科教育に重点を置いた教育政策が取られているものの、算数教育においては、教員の指導力不足や生徒数の多さ、板書による暗記中心の授業が主流であることから、児童・生徒にその内容が十分に理解されず、基礎的計算能力等が不足していることが課題となっている。配属先でも教員の指導能力や実践的な授業が不足しており、算数の理解度が低いことが課題となっている。隊員には数概念の形成についての指導方法や視覚教材を使った指導方法など、日本の算数の指導方法を現地教員と共有し、生徒たちが分かりやすい算数授業の実施を支援する活動が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚を対象に下記の研修を実施し、教員の指導能力向上に協力する。
 - 身近な例や視覚教材を用いた分かりやすい算数指導方法の紹介(数概念や計算など)
 - 現地で入手可能な材料を使用した教材の作成支援
 - Active learningの考えを取り入れた指導方法の紹介
- 同僚とのチームティーチングによりGrade1～6(小学校1～6年生相当)を対象に上記1.の要素を取り入れた算数授業を実施し、生徒の理解度向上に貢献する。
- 上記1.のアイデアをまとめた教員用マニュアルの作成

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、教科書

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:校長:男性40代

同僚算数科教員:25名(20～40代 大卒または院卒)男性10、女性15

活動対象者:Grade1～6(小学校1～6年生相当)の生徒:約50～60人/クラス、各学年7～8クラス

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：配属先学歴レベルとの調和

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 2年以上 備考：同僚への指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(10～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可 無線)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

活動使用言語および生活使用言語はアムハラ語となる。

・水道は平均週に2日程度断水。・電気は毎日平均3時間程度停電。